

平成26年度 ヒトを対象とする研究に関する倫理承認一覧

登録番号	申請者(研究責任者)			研究題目
	所属	職名	氏名	
14-1	人文社会科学研究科	教授	松田 純	新人看護職のケアリングの姿勢に影響を及ぼす要因
14-2	人文社会科学研究科	教授	平岡 義和	脳血管障害後片麻痺患者はどのように感じどのように動いているのか(仮) ~理学療法場面の会話・映像分析から~
14-3	人文社会科学研究科	教授	江口 昌克	メンタルヘルスサービス利用のバリアフリー化に関する研究 —サービス利用者のニーズ調査—
14-4	人文社会科学研究科	教授	江口 昌克	母親が流産・死産体験を我が子に語る意味
14-5	人文社会科学研究科	教授	江口 昌克	就職活動により形成された理想自己と入社後に体験するリアリティ・ショックの関連 —現実状況への対処に着目したレトロスペクティブ研究—
14-6	人文社会科学研究科	准教授	白井 千晶	総合病院における出産ケアと助産師の働き方
14-7	人文社会科学研究科	講師	畠垣 智恵	高機能広汎性発達障害児・者のきょうだいの就労にまつわる選択
14-8	教育学部	准教授	小林 朋子	小中学生における「精神的回復力(レジリエンス)」の発達的変化とその支援に関する研究
14-9	電子工学研究所	教授	杉浦 敏文	外来刺激に対する身体反応評価
14-10	情報学研究科	教授	竹林 洋一	認知症の人のケア高度化に向けたマルチモーダル感情行動コーパスの構築に関する研究
14-11	農学研究科	教授	森田 達也	難治性腸管炎症における免疫異常および代謝産物の解析
14-12	人文社会科学部	准教授	白井 千晶	第三者が関わる生殖技術に起因する課題の当事者研究:卵子提供を受けた母親を中心に
14-13	人文社会科学部	教授	笠井 仁	慢性神経疾患患者家族の家族介護意識とソーシャル・サポートが精神的健康に及ぼす影響
14-14	人文社会科学部	教授	笠井 仁	覚醒方法と心身の健康状態との関連
14-15	人文社会科学研究科	教授	田辺 肇	不適応的完全主義傾向が緩和される過程
14-16	人文社会科学研究科	教授	江口 昌克	対人恐怖心性と顕在的・潜在的自尊心との関連
14-17	工学研究科	助教	寺林 賢司	手腕部の外科治療のための手術計画支援
14-18	工学研究科	教授	海老澤嘉伸	注視点検出装置を用いた乳幼児自閉症診断支援装置の開発
14-19	工学研究科	教授	海老澤嘉伸	高照度環境対応高精度視線検出のための開口部内2波長光出射光学系の開発基礎研究

登録番号	申請者(研究責任者)			研究題目
	所属	職名	氏名	
14-20	情報学研究科	教授	山田 文康	アンケートにおける不良回答の識別方法に関する研究
14-21	保健センター	教授	古橋 裕子	修学上の支援が必要な発達障害圏学生についてのアンケート調査
14-23	教育学部	准教授	杉崎 哲子	日常に生きる書写指導確立のための「書く過程」に着目した教材開発
14-24	工学研究科	講師	沖田 善光	心臓血管外科手術の術後心房細動の発生とHeart Rate Variability の関係
14-25	人文社会科学研究科	講師	畠垣 智恵	児童養護施設職員の職務継続意思とソーシャル・サポート及びストレス・コーピングとの関連
14-26	教育学部	教授	中野美恵子	「自立体力テスト」40～59歳における評価基準値の作成
14-27	教育学部	教授	杉山 康司	トレイルステーション(御殿場口新五合目)における活用およびスポーツ合宿施設としての準高地トレーニングの可能性に関する研究
14-28	教育学部	准教授	鎌塚 優子	道徳教育に活かすケースメソッド教育の教材開発と評価
14-29	教育学部	准教授	竹下 温子	運動部所属学生における分岐鎖アミノ酸(BCAA)とうつ・ストレスの関係
14-30	工学研究科	教授	鳥居 孝夫	人体のねじり振動特性に関する研究
14-31	工学研究科	教授	田中 繁一	超小型ファイバーセンサーを用いた人象牙質情報伝達変化の観測
14-33	大学教育センター	講師	須藤 智	高齢者における「焦り」の認知的制御に対する妨害メカニズムの解明と認知工学的応用
14-34	工学研究科	准教授	伊藤 友孝	人体下肢の運動計測・評価システムの構築
14-35	工学研究科	准教授	伊藤 友孝	脳活動計測に基づくブレインマシンインターフェースの構築
14-36	工学研究科	教授	竹前 忠	SIDS防止とSASのための光学的呼吸モニタリング
14-37	教育学部	准教授	井出 智博	児童養護施設と地域校の連携状況に関する調査研究
14-38	教育学部	准教授	鎌塚 優子	児童生徒の保健室来室時における自己表現力の育成に関する研究-自ら心身の状況を養護教諭に伝える力を育てる指導の工夫-